

2022年度 鎮西学院高等学校 学校自己評価(教員)集計

評価：十分達成できている 4:おおむね達成できている 3:どちらともいえない 2:あまり達成できていない 1:ほとんど達成できていない

1. 学校経営

No.	評価項目	平均
Q1	学校経営方針が学校内外に明確に示され、各教職員がその方針を意識して教育活動を展開している。	3.8
Q2	学校教育目標が具現化され、それぞれの目標達成に向けた取り組みを各部署・各教員が行っている。	4.0
Q3	学年目標が明示され、学年団が一体となりその目標達成のために活動している。	4.1
Q4	担任が学級目標を明示して主体的な学級づくりを行い、面談やHRチャペル等を通して生徒理解に努めている。	4.0
Q5	部活動が活発に行われるように配慮され、各部長・顧問は生徒の技術力・人間力の向上を目指している。	4.1

2. 教育活動

Q1	チャペル・特別礼拝・学校クリスマスなどを通して、生徒たちにキリスト教的精神が涵養されている。	4.3
Q2	海外修学旅行や海外校との交流、カナダ交換留学など多くの留学生の受け入れを通じて、国際感覚が涵養されている。	4.0
Q3	ICT教材などを用いて、生徒の希望や適性に応じた授業が行われ、成果を出している。	3.8
Q4	確認テストの実施や補充プリントの配布など、創意工夫した教科指導がなされている。	3.9
Q5	学力到達度テスト・模擬試験などの結果が生徒の学力の把握や向上に役立てられている。	3.5
Q6	総合的な学習の時間としての修養会は、聖書の学びを通して生徒の人的成長に大きく貢献している。	4.1
Q7	新コースの設立、AI教材「鎮西E+」の導入、一般進学コースの基礎学力向上のため「すらら」の見直しなど新風を吹き込んでいる。	3.3
Q8	新型コロナウイルス感染症の中、様々な学校行事が生徒の実態に即して適切かつ効果的に実施されている。	4.2
Q9	生徒の基本的な生活習慣確立のため、きめ細かくて効果的な生徒指導が実践されている。	3.6
Q10	進学希望者が自己実現や将来設計などをできるように、様々な進路指導が有効に創意工夫されている。	4.0
Q11	就職希望者が自己実現や将来設計などをできるように、様々な進路指導が有効に創意工夫されている。	4.0
Q12	悩みを持つ生徒のための教育相談の体制が充実し、会議等を開いて有効な対応が行われている。	4.0
Q13	生徒の心身の健康維持や安全のため、担当部署による適切な方策が講じられている。	4.0
Q14	人権尊重に関する様々な課題を認識させ、解決のための実践力を身につけさせている。	3.7
Q15	いじめ防止基本方針を作成し、それに従って生徒が安全安心な学校生活を送れるよう施策が講じられている。	4.1
Q16	部活動への積極的参加を促し、きめ細かな指導で忍耐力や協調性を身につけさせ、人間性の向上に役立たせている。	4.0
Q17	インターアクトクラブ・生徒会・聖歌隊などによるボランティア活動が充実し、奉仕の心が育成されている。	4.0
Q18	英検・漢検・商業科の検定等の資格取得を奨励し、取得に向けた適切な指導がなされている。	4.2

2.の内容については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止もしくは規模を縮小して継続
17.のボランティア活動についても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止もしくは規模を縮小して継続

3. 組織運営

Q1	校務分掌等の役割分担が適切に行われており、それぞれが会議等を行い、校務が適切に処理されている。	3.7
Q2	目的別に各種委員会が設置され、目標の実現のため適切に運営されている。	3.8
Q3	公開授業が設定され、各教科で研究授業を行い、授業の質的向上がなされている。	3.6
Q4	教師修養会などに外部講師等を招き、実情に即した研修が実施されている。	3.8
Q5	研修セミナー参加・先進校視察・授業改善プログラムなどを行い、教職員の資質向上への取り組みが積極的に行われている。	3.7
Q6	年度当初に達成目標を記入した自己申告シートによる年度末の反省が次年度に生かされている。	3.7

4. 教育環境

Q1	全校生徒・全教職員が積極的に清掃活動に取り組み、学校の美化及び環境整備がなされている。	3.9
Q2	必要な施設設備の新設・改築・整備を適宜行い、有効な活用がなされている。	3.6
Q3	教職員の心身の健康維持や安全のため、担当部署による適切な施策が講じられている。	3.4
Q4	パソコン等を利用して校内LANを効果的に活用し、効率的な事務作業が行われている。	4.1
Q5	ホームページ、YouTube、Face bookなどを定期的に更新し、常に新しい学校情報が提供されている。	3.8

5. 開かれた学校づくり

Q1	保護者との連携を密にし、必要に応じて家庭訪問等を行い、生徒に関する情報の共有がなされている。	4.1
Q2	PTA総会、三者面談、進路説明会を通じて保護者の意見に耳を傾け、思いを汲み取り、教育活動の改善につなげている。	4.1
Q3	オープンキャンパスと入試説明会を実施し、中学生・保護者に対して本校の教育内容を深く理解させている。	4.5
Q4	入学希望者のための個別相談会を実施し、個別対応を推進し入学へとつなげている。	4.6
Q5	中学校への定期訪問や、離島・県北・佐賀地区への訪問により、各中学校への適切な情報提供がなされている。	4.5